

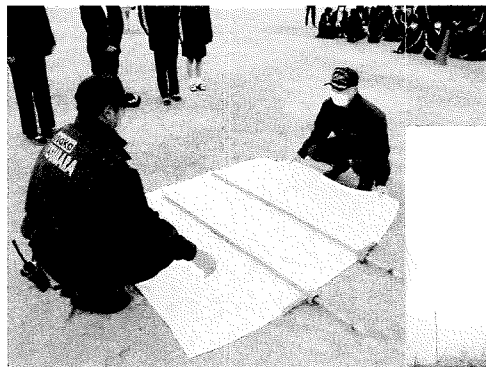
令和4年12月12日 松原市立松原第七中学校 保健室

かぜ^{しょうじょう}症状や腹痛^{ふくつう}など体調不良^{たいちようふりょう}の来室者^{らいしつしゃ}や欠席者^{けいせきしゃ}が増^ふえてきています。感染症^{かんせんしやう}にかからないよう手洗^{てあらい}い、マスク着用^{ちやくよう}、換気^{かんき}などの予防^{よぼう}をすること、またしっかりと睡眠^{すいみん}をとり免疫力^{めんえきりよく}を下げないようすることも大切^{たいせつ}です。「自分の健康^{じぶんけんこう}は自分で守^{まも}る」という気持ち^{きもち}で、体調^{たいちよう}を管理^{かんり}しましょう。

12月7日(水)に松原市消防署^{まつばらししやうぼうしよ}の方が来^{かた}られて避難訓練^{ひなんくんれん}を行いました。

消防署員^{しやうぼうしゆいん}の方に代用品^{かた}でできる応急処置^{おうきょしよち}のミニ講座^{こうざ}もしていただきました。今回は棒^{ぼう}と毛布^{もうふ}でできる担架^{たんか}の他^{ほか}、傷病者^{しょうびやうしや}の運搬方法^{うんぱんほうほう}を教^{おし}えてもらいました。

※この方法は首^{くび}に負傷^{ふしやう}していない場合^{ばあい}の運搬方法^{うんぱんほうほう}になります。



うら面^{めん}へ

実施後のアンケートより

- 「地震の強いゆれがあったときに身を守る方法を知っていますか？」という質問に対して「知っていた」は 89.6%、「今回で知った」8.8%、「知らない」1.6%でした。地震が起きたら、まずは自分の身を守りましょう。危険と思われるもの（ガラスや棚など）からはなれ、机の下などに身を隠しましょう。
- 「指示に従い速やかに避難できましたか？」という質問に対して「できた」は 98.4%、「できなかった」は 1.6%でした。学年別にみると、2・3年生は全員が「指示に従い速やかに避難できた」と回答しています。毎年、年に2回ほど避難訓練を実施しているので、学年が上がるごとに落ち着いて行動できているのかなと思います。

そのほか感想など

- （おうちでも）避難バックはどこにあるか、どこに逃げるかを話しています。
- 火災や地震が本当に起きたとして、もっと本格的な訓練にしてほしいです。
- 人の助け方を前にお母さんから教えてもらっていたけど、少し忘れかけてたから思い出せてよかったです。
- 火災で火はもちろん危ないけど、けむりの方が危ないから身をかがんで口をハンカチで押さえて移動しなければいけないことを思い出した。
- 人が倒れていたとき、普通の担架じゃなくて、家にありそうなものでやってくれたので、いざというときのために覚えておこうと思いました。
- 毛布で担架の代用になるっていうことを初めて知ることができた。腕の通し方や足の位置を工夫することによって、自分より大きい人でも運ぶことができると知れてよかった。

今回も地震発生後、北館2階の家庭科室から出火したと想定しての避難訓練でした。避難経路はその想定のもとで考えた経路になります。もし、教室のある南館から出火したら…火元に近づかないように避難できる経路を考えることが必要です。

また、校舎には防火扉や消火器が設置してありますので、普段からどこに設置されているのか確認しておきましょう。

もし避難経路に何かが倒れてきたら、負傷者がいたらなど…いろいろな場合に、より安全に避難する方法を考える機会にしてもらえたらと思います。

